

1 児童の実態

(1) 学習状況調査結果の推移

	国語		算数	
	5年時	6年時	5年時	6年時
H27 入学 現 5年	71.7 (1.09)		65.8 (1.00)	
H26 入学 現 6年	70.9 (1.06)	57 (0.89)	68.0 (0.96)	67 (1.01)
H31 正答率の全国比		(0.89)		(1.00)

◎5年時は佐賀県学習状況調査、6年時は全国学習状況調査の推移。

◎上段は平均正答率、下段( )は、県平均を1としての比較。

◎「H31 正答率の全国比」は全国平均を1としての比較。

(2) 学習状況調査・意識調査から読み取れる実態

【学習状況調査】

- ・国語科では、漢字やローマ字の読みは習得ができているが、正しく書くことはできていない。
- ・「読むこと」の領域は、「叙述を基に、登場人物の気持ちの変化や心情についての描写を捉えたりすること」や、「事実と意見とを区別して読むこと」について課題が見られた。
- ・算数科では、基礎的な計算の技能はよく身につけているが、活用問題の正答率が低い。問題文に示された情報を基に、具体的な根拠をあげて求め方を説明することに課題が見られた。
- ・国語科、算数科ともに、記述式の問題の正答率が低く、自分の考えをまとめたり、条件に合わせて文章を書いたりすることが課題である。

【意識調査】

- ・大半の児童は、基本的な生活習慣（「毎日朝食をとる」「同じ時刻に就寝する」「同じ時刻に起床する」）は定着している。定刻に就寝、起床をしていない児童は約20%で、県や全国平均に比べやや高い。
- ・「自分にはよいところがある」とは思えない、「先生は自分のよいところを認めてくれている」とは思えないと感じている児童は、ともに32%で、県や全国平均に比べやや高い。
- ・一日あたり30分以上読書をする児童は約40%で、県や全国平均と変わらない。「全く読書をしない」児童が21.6%で、県や全国平均より多く、読書量に個人差が見られた。
- ・新聞を「ほとんど、または、全く読まない」児童は67.6%で、県や全国平均に比べ高い。
- ・家庭学習については、平日の学習時間が1時間以下であった児童が27%で課題が残る。1時間以上学習をする児童の割合は73%で、県や全国平均に比べ高い。

## 2 改善に向けた具体的な取組

### (1) 授業づくり、指導方法の改善・充実のための重点取組

- 「授業づくりのステップ1・2・3 vol.1」活用し、「めあて」や「まとめ」の提示、「ふりかえり」「書く活動」「話し合い活動」など、授業に、全校で共通した学習過程を取り入れ、指導方法の改善に努める。
  - ・「授業づくりのステップ1・2・3 vol.1」チェックシートを用いて、毎月、教師自身が自分の授業について振り返りをし、授業の質をさらに向上させる取り組みを行い、児童の学力向上に努める。
  - ・毎月の振り返りを職員で共有し、各学級の取り組みの参考にして実践に活かす。
- 問題文で、何を問われているのかを的確にとらえさせるために、文章問題に線やしるしを書き入れたり、図に表したりすることを全学年で取り入れる。授業で繰り返し指導し定着させる。
- 条件に合わせて書く活動を意図的に授業の中に取り入れ、児童の書くことの抵抗感を少なくする。
  - ・条件に合わせて文章を書く、振り返りを書く、まとめを書く活動を、授業に多く取り入れる。
  - ・全ての教科において、「条件に合わせて自分の考えを書く」活動を、意図的、計画的に授業に取り入れる。

### (2) (授業以外) 児童・生徒の課題改善のための重点取組

- 家庭学習の充実を図り、児童によりよい生活習慣や学習習慣を身につけさせる。
  - ・家庭学習ノートに、その日学習したことの復習として、1～2ページまとめさせる。全校で形式をそろえ、毎日継続させる。家庭からのサインをもらい、提出確認を全職員でしていく。
  - ・「学校だより」「八束穂」(学習部だより)を定期的に発行し、地域や保護者との連携を図る。また、児童の家庭学習ノートを紹介し、保護者の啓発、家庭学習の充実を図る。
  - ・各学年で家庭学習時間を設定し、生活チェックや学習時間、ノーテレビ・ノーゲーム等の実施について、調査をする。「やまびこカード」記録した「やまびこカード」の振り返りを行い、家庭学習の定着を図る。
  - ・学習状況調査で誤答の多かった問題を、宿題や自主学習等で繰り返し取り組ませる(5・6年)。
- 毎日の読書を奨励し、集中して文章を読むことができるようにする。
  - ・一日あたりの読書量を設定し、学校での朝読書や家庭での読書などを充実させる。「全く読書をしない」児童が0になるようにする。
  - ・PTA 母親部の読み語り、給食待ち時間の読み聞かせなど、読み聞かせをする場を設定し、本を好きになる児童が増える環境作りを行う。